



けやき

令和2年度 学校だより (8・9月号)

令和2年8月20日 (木)

桶川市立桶川東小学校

学校教育目標 未来へはばたけ けやきっ子 あかるく かしこく たくましく

在籍児童数 1年:133名、2年:138名、3年:126名、4年:137名、5年:140名、6年:115名、ひまわり6名、合計:795名

当たり前のことを当たり前に行う

校長 小林 松司

例年よりも短い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。思い返せば6月、2グループに分かれての分散登校、そして給食はパンと牛乳だけの簡単給食で始まった今年度ですが、暑い中マスクをするなど不便はあるものの、学級単位で授業を行うことができています。

このように一見通常を取り戻したようにも見えますが、子どもたちが楽しみにしていた運動会、目標としていた市内体育大会、市内音楽会などは中止となりました。実施することができなかった学校行事もたくさんあります。子どもたちの中には、何とも言えない喪失感を感じている子どもも多くいることでしょう。しかし、このような時だからこそ、今やるべきことは何かを考え、当たり前のことを当たり前に行うこと、が大切となります。

東日本大震災が起きた時、私は県の教育委員会に勤務していました。震災後、なんとなく落ち着かず浮足立つ職員に、その時の上司が次のことを話してくれました。「震災が起き日常を取り戻せないでいることは分かる。しかし、今大切なのは、一つは被災された人々の無事を祈ること、被災地のためにできることはないか考え、実行すること、そして最も大切なのは、目の前にある業務を粛々と行うこと、である。」

たいへんな時だからこそ、やるべきことをしっかりと行うことが大切である。このことは、私の心に響きました。

今は国難とも言えるたいへんな時です。心配や不安で心が折れそうになる時もあります。子どもたちも同じだと思います。しかし、このたいへんな時にこそ、心にとどめておいてほしいと願い、本日の始業式(放送による)で以下のお話しをしました。

当たり前のことを当たり前に行う、特に次の3点をしっかりと行ってほしいと思います。

- 1 『早寝、早起き、朝ごはん』 生活リズムがすべての基本となります。
- 2 『学用品の準備をしっかりと』 前日に、鉛筆を削ったり学用品をそろえたりしましょう。授業を充実したものにする第一歩は、忘れ物をしないということです。
- 3 『目標をもって努力すること』 自分なりの目標を定め、日々努力しましょう。毎日の積み重ねが大きな成果につながります。

それでも不安や息苦しさを感じることもあると思います。そのような時は、ぜひ、大人の人に相談してください。学校では、先生たちがいつでも相談に応じます。また、スマイル相談員さんや学校カウンセラーの先生もいます。

本校のめざす児童像である「ドリーム&チャレンジ めあてをもって努力できる子」の育成のために、2学期も本校教職員一丸となって努力してまいります。保護者、地域の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。